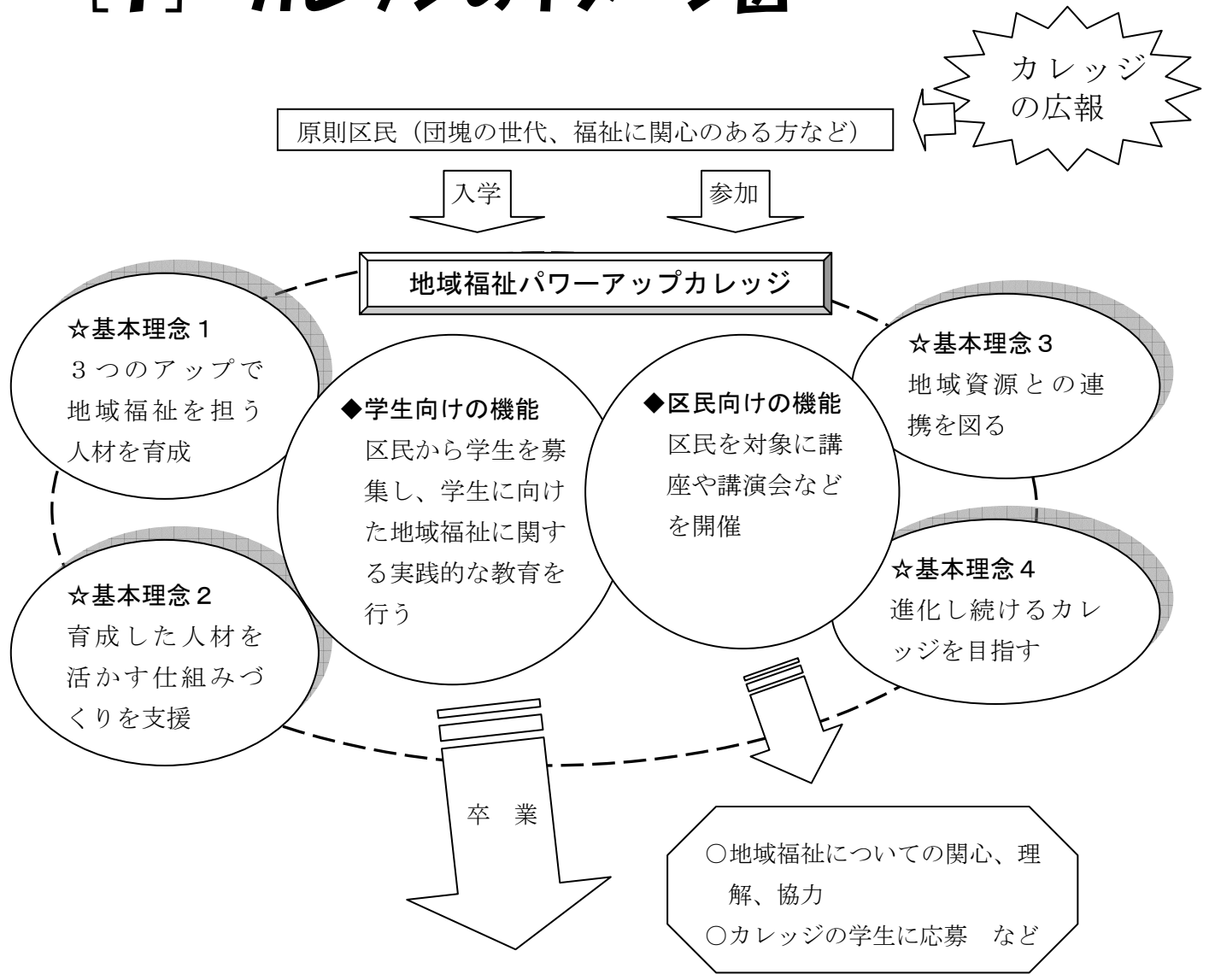


第 2 章
カレッジのイメージ

[1] カレッジのイメージ図



育成する人材のイメージ

- 地域の実情を知り、地域に根ざした福祉活動ができる
- 既存の地域福祉団体の活動を充実させることができる
- 新しい福祉活動を立ち上げることができる
- 地域福祉全般について一定水準以上の知識・スキルを習得し、その知識・スキルを家族や知人など地域で広めることができる
- 福祉に関する相談を受けた際、適切にアドバイスしたり、関係機関などにつないだりできる

[2] カリキュラムのイメージ

1 カリキュラムの考え方について

- 2年間で完結するカリキュラムとします。
- 1年次は、福祉の担い手としての基礎知識・スキルの習得を主な目標とします。また、2年次は1年次で習得した知識・スキルを活かしながら、実践力を身に付けるとともに、活動の場を発見することを主な目標とします。
- 授業は、講義のみではなく、討議、ワークショップ、発表、フィールドワーク、ロールプレイング等をふんだんに取り入れ進めます。また、学生自身が企画する自主学習も取り入れます。なお、1年次、2年次のカリキュラムのイメージは、19、20ページのとおりです。
- カリキュラムの詳細は、本報告書を踏まえ有識者などの意見を基に別途作成します。



2 2年間のカリキュラムのイメージ案について

【1年次のカリキュラムのイメージ案】

主な目標： 福祉の担い手としての基礎知識・スキルを習得する。

- 個別目標：
- 1 地域を知る。
 - 2 福祉に関する基礎知識を習得する。
 - 3 福祉現場を知る・体験する。
 - 4 福祉の担い手としての自己を確立する。
 - 5 実務的なスキルを習得する。
 - 6 2年次の専門分野を決定する。

種別	内容	時間	
行事	入学式		
	オリエンテーション（説明会）		
	カレッジ祭		
クラスづくり・運営	クラスづくり、1年次の目標	6時間程度	
	中間の振り返り（2回）		
	1年次の振り返り		
福祉の概論を知る	社会福祉の歩み	12時間程度	
	社会福祉の現状と課題		
	対象者、利用者の理解		
練馬区の地域福祉を知る	練馬区のあらまし	3時間程度	
	練馬区における福祉の現状と課題		
	地域を歩く、地域活動を調べる、地域活動に参加する	3時間程度（発表、討議のみの時間で活動は自主的に行う）	
	町会等の地域団体の現状と課題	9時間程度	
	NPO、ボランティア活動の現状と課題		
	福祉ビジネスの現状と課題		
生活課題を知る	自分について考える	9時間程度	
	自分と社会保障について考える		
	自分の健康管理術		
実務で役立つ知識・スキルⅠ	日常生活における介助・介護のスキル	15時間程度	
	情報伝達のスキル		
	コミュニケーションのスキル		
実務で役立つ知識・スキルⅡ	発表のスキル		
	グループ討議・ワークショップのスキル		
	資格の内容、取得方法		
2年次の専門分野を考える	2年次の専門分野指導・検討	3時間程度	
		合計60時間程度	
特別講座	パソコンのスキルアップなど	任意出席	

【2年次のカリキュラムのイメージ案】

☆ 高齢者福祉を専門分野とした場合の例です。他には、障害者福祉、子育てなどが専門分野として想定されます。

主な目標： 習得した基礎知識・スキルを活かしながら、実践力を身に付けるとともに、活動の場を発見する。

個別目標： 1 福祉現場の体験・実習を通し、実践力を身に付ける。
2 事例討議を通し、実践力・応用力を身に付ける。
3 相談・つながりのスキルを身に付ける。
4 卒業企画提案を通し、活動の場を発見する。
5 実務的なスキルを習得する。

種別	内容	時間
行事	カレッジ祭	
	卒業式	
クラスづくり・運営	クラスづくり、2年次の目標	6時間程度
	中間の振り返り（2回）	
	カレッジの振り返り	
高齢者が直面している課題を知る、課題を検討する	高齢者の個別生活課題の理解	15時間程度
	高齢者福祉制度	
	高齢者の援助	
	活動理解 検討（事例討議等）	
地域福祉活動を知る	組織の立ち上げ・運営	4時間程度
	個人で行う福祉活動	
福祉現場を体験し、事業活動を提案する	介護保険関連の現場（重度の要介護者）	21時間程度
	元気高齢者の現場	
	グループ別の卒業企画提案	6時間程度
実務で役立つ知識・スキルⅢ	相談(カウンセリング含む)・つながりのスキル	8時間程度
	補助金の活用の仕方	
	文書作成のスキル	
		合計60時間程度
特別講座	パソコンのスキルアップなど	任意出席